

## 武漢事務所週間ニュース 4号 (2012年4月28日～5月4日)

### 29日から武漢 - ソウル便が開通

4月28日 長江ネット

南方航空湖北支社によると、4月29日に武漢から韓国ソウルへの国際路線が開通する。便名はCZ369/370で、出航曜日及び時間は水曜、金曜、日曜日の12時25分(以下全て現地時間)に武漢を出発し17時45分にソウルに到着。18時45分にソウルから引き返し、23時5分に武漢に到着する。以前からある武漢 - ソウル便と異なる点は、利用者が武漢天河空港で直接出国できるため、経由地である上海で一度荷物を受け取る手間が省け、経由地での滞在時間を大幅に削減できる点である。

南方航空は6月13日から広州 - アムステルダム の往復便を毎日1便に増便する。23時55分に広州を出発し、翌日6時45分にアムステルダムに到着、13時20分にアムステルダムを出発し、翌日6時50分に広州に到着する。

現在、南方航空は広州 - パリ、北京 - アムステルダムの国際直行便を毎週3便運航しており、6月6日から新しく広州 - ロンドンへの直行便を毎週3便新設する。広州 - アムステルダムへの増便後、南方航空が運航しているヨーロッパ(ロシアを含まず)への国際航空便の便数は週24便となる。その時には、武漢エリアの旅行客は武漢 - 広州の南方航空便もしくは北京の国内便を選択し、乗り換えてアムステルダムを訪れることになる。

南方航空は近々、武漢から東南アジアや日韓などへの国際便を計画している。

### 武漢市は全国「スマートシティ・リーディング都市賞」の栄冠に

4月30日 長江ネット

昨日、2012年中国スマートシティ大会が北京にて開催され、武漢、北京、上海、広州、南京、寧波、揚州の7都市が全国「スマートシティ・リーディング都市賞」に選出された。

本大会は中国スマートシティフォーラムの主催となっている。全国人民大会常務委員会の成思危元副委員長がフォーラムの主席を務め、中国工程院の賀銓(は金へんに烏)副院長とともにテーマの報告を行った。

組織委員会によると、武漢市はスマートシティの建設に関して素晴らしい成績を残している。特に、医療、物流、政務、漁業などの分野においてインターネットやクラウドコンピューティング、ブロードバンドを利用したユビキダネットワークなどの新世代の情報技術を取り入れ、全国をリードしている。

大会は同時に全国「スマートシティー推進企業」も表彰しており、武漢市情報産業弁公室、南京市発展及び改革委員会などの 7 機関が選出された。中国電信グループ、中国聯通、中国航天科工グループ会社などは中国「スマートシティー・リーディング企業」の賞を授与された。

## 武漢ハッピーバレーはレジャー施設として世界的な潜在能力を有している

5月1日 長江ネット

今日、武漢華僑城実業発展有限公氏が開発している遊園地である、武漢ハッピーバレーが開園し、武漢市民が長年待ち望んでいたテーマパークが誕生した。当初から武漢ハッピーバレーのプロジェクトに関わっているものによると、東京ディズニーランドの入園者数は世界で一ヶ台にランキングされるほどである。車で 2,3 時間の距離を半径に放射線を描いていくと、エリア内の人口は 3,000 万人となる。武漢から車で 1 時間の距離を半径に放射線を描いていくと、1+8 都市圏が収まり、その人口は 3,000 万人となる。これは、武漢ハッピーバレーが世界的なレジャー施設となる条件に当てはまることを表している。

武漢市旅遊局の関係者によると、ハッピーバレーは巨大な磁極である。高速鉄道がもたらした集客効果がある中、ターゲットは華中全体である。その中でも、既に開通している武漢 - 深セン高速鉄道や間もなく開通する武漢 - 宜昌高速鉄道、10月に開通する石家荘 - 武漢高速鉄道は人を引き付ける磁力が更に強い。

観光部門の紹介によると、今後 3 年間にわたる湖北省のテーマパークは急速に発展する予定である。武漢には「ハッピーバレー」や「世茂嘉年華」、「未来世界」、「海昌極地シーワールド」など多くのテーマパークがあるだけでなく、投資額が 5 億元（約 65 億円、1 元 = 13 円で計算、以下同様）から数十億元にまで達する。テーマパークは現代の旅行業のホットスポットとなっており、武漢の観光分野における、単一性という長年にわたる弱点を補うものである。テーマパークはそれ自体の価値もさることながら、産業全体を牽引する力が非常に強いという点が更に重要である。